

## 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報の公開について

当院では、下記の研究を実施しております。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて、研究対象者となられる方から同意をいただくことに代えて、情報公開することにより実施しております。

この研究の参加に同意いただけない場合又はこの研究に対する問い合わせは、下記問い合わせ先までご連絡ください。

### 記

【受付番号】 研究課題名	【04-021】 O型血清中の抗A・抗B抗体価の現状に係る研究
研究の意義・目的	O4防衛力整備計画において、自衛隊における血液製剤の自律的確保の検討が示されました。米軍においては、前線で戦傷蘇生に使用する血液として冷蔵保存低力価O型全血（血小板含む）を推奨第一の血液製剤としています。今後想定される武力攻撃事態等で、日米が協同する為には、衛生分野も相互運用性を高める必要があり、現時点で血液製剤の唯一の供給源である日本赤十字社では、血小板温存全血の製造は無く、成分輸血が主流の為、O型血清中の力価測定も広く行われていない現状です。自衛隊衛生の即応性を備える為、O型の自衛隊員での抗A・抗B抗体の現状を知ることは、今後の血液補給の運用を考える際の基本となると考えます。
実施期間（西暦）	倫理委員会承認後～2024年3月31日
研究の対象	陸自国際平和協力業務等派遣隊員のO型保存血清
研究の方法	陸自国際平和協力業務等派遣隊員の臨時健康診断の際、対象隊員から同意のもと採取し-80℃で保管されている検体を使用し、カラム凝集法により抗体価を測定します。判定は、赤血球と抗体との反応凝集強度が(+/-)以上の凝集を示した血清の最大希釈倍率の逆数を抗体価として用います。その際、年齢、性別等の因子も含めて統計学的に解析します。なお本研究では、すでに検体は採取されており、対象者の方に対しての新たな直接的な侵襲や介入は一切ありません。

<p>個人情報の取扱い</p>	<p>本研究で収集したデータは、プライバシー及び個人情報を保護するため、統計上必要な性別及び年齢の項目のみの連結とし、臨時健康診断結果のリストから部隊名、氏名、認識番号等の個人を特定できる情報を除いた情報に新たに番号を付与し、氏名等と繋がる個人の情報から切り離して管理し匿名化します。また、本研究以外に用いることは一切致しません。なお、本研究の内容や方法について、いつでも研究者に質問することができ、検査情報の使用に同意しないことも可能です。</p>
<p>研究機関代表者</p>	<p>自衛隊中央病院長</p>
<p>問い合わせ先</p>	<p>自衛隊中央病院  所 属：診療科  担 当：江戸川祥子（えどがわ しょうこ）  TEL：03-3411-0151（代表）  内線：6245（診療庶務室）</p>